



# Innominate mGuard Security Appliance 設定事例 – ユーザー認証

平成19年1月  
アルテック・エーディエス株式会社  
オプト&ネットワーク事業部

## ユーザー認証/ 設定

ユーザー認証の項目では、mGuard におけるユーザー認証関係を設定します。

以下の設定の説明をします。

ローカルユーザー

リモートユーザー

mGuard メニューからユーザー認証 >> ローカルユーザー



### パスワード

mGuard は、3 つのレベルのユーザー認証をサポートしています。

特定の認証レベルでログインする場合は、そのレベルのパスワードを入力する必要があります。

**Root** : このレベル(パスワード)では、mGuard の全パラメーターへの権限が与えられます。

**Admi** : このレベル(パスワード)でログインすると、Web ベースの設定画面でアクセス可能な設定オプションに必要な権限が全て与えられます。

**User** : ユーザーのパスワードを設定して有効にした場合、mGuard を起動させ、HTTP URL にアクセスする前にパスワードが必要となります。この設定を有効にしている場合、パスワードを入力しないと VPN 接続が有効になりません。

#### root

ルートパスワード (アカウント: root)	現在のパスワード: <input type="password"/>
	新しいパスワード: <input type="password"/>
	新しいパスワードの確認: <input type="password"/>

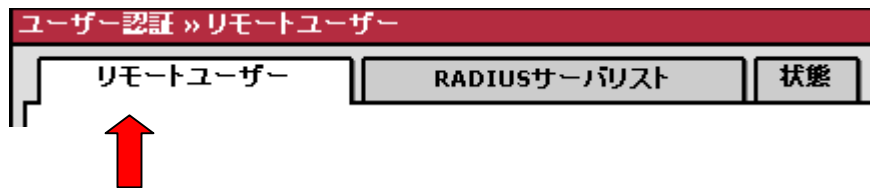
#### admin

アドミニストレータパスワード (アカウント: admin)	<input type="password"/>
	<input type="password"/>

#### user

ユーザーパスワードを有効にする	<input type="checkbox"/>
ユーザーパスワード	<input type="password"/>
	<input type="password"/>

mGuard メニューからユーザー認証 >> ローカルユーザー



ここでのリモートユーザー設定は、ユーザーファイヤーウォール機能を使用するとき必要となります。

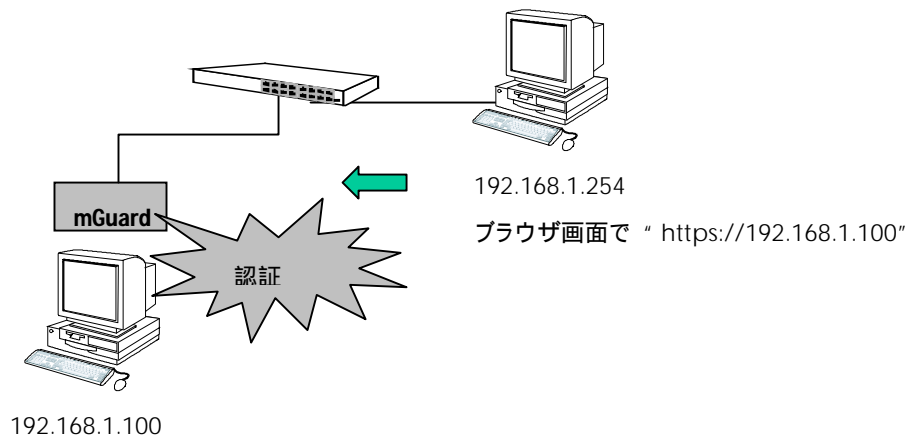
ここでの設定は、認証方法を設定します。

なお、外部からリモートユーザー認証を使用される場合は、HTTPS 設定が必要となります。

## リモートユーザー

認証方法として、

mGuard が認証を行なう「Local DB」と外部の「RADIUS」サーバを選択できます。



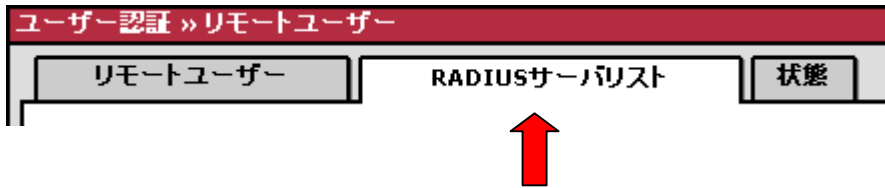
### ユーザー

ユーザーのファイヤーウォールを有効にする:  はい

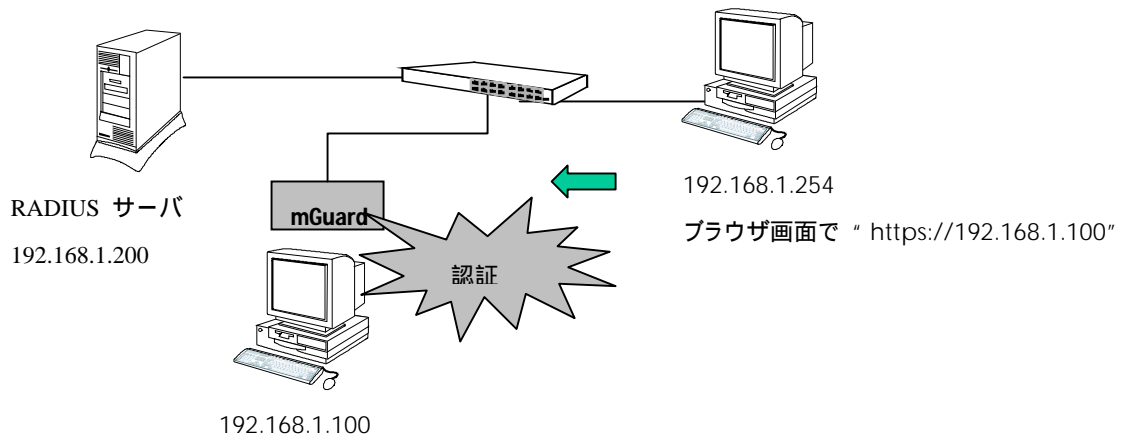
ユーザー名	認証方法	ユーザーパスワード
user1	Local DB	.....

Local DB を使用するとき、ユーザーパスワードを設定してください。

mGuard メニューからユーザー認証 >> RADIUS サーバリスト



## RADIUS サーバリスト

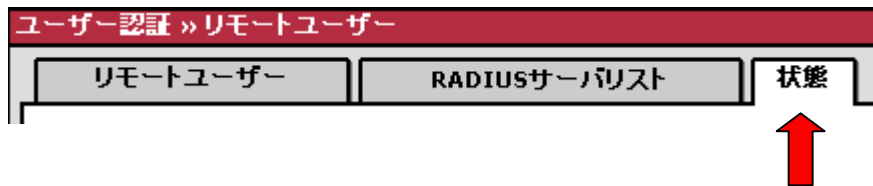


### RADIUSサーバリスト

RADIUSタイムアウト:	3		
RADIUSサーバへの再送信:	3		
<input checked="" type="checkbox"/>	サーバ	ポート	シークレット
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.1.200	1812	test

外部に RADIUS サーバを接続する事で使用できます。

mGuard メニューからユーザー認証 >> 状態



## 状態

### 状態

```
user1@192.168.210.102, timeout 28780, template "test" (rule aaaaaaaaa)
```

ユーザファイアウォール・ルールが有効になると上記の表示になります。

\* ユーザファイアウォールの設定につきましては、ネットワークセキュリティにて説明をしています。